

「地域教育力推進モデル校」(秋スタート)プロジェクト会議(MP)

- 1 日 時 平成24年10月22日(月)
- 2 場 所 県立教育研究所
- 3 内 容 モデル推進についての情報交換(グループ討議)

〔教育委員会グループ〕

市町村	大和高田市	桜井市	御所市	生駒市	田原本町	明日香村
出席者	指導主事	指導主事	課長	課長補佐	指導主事	主査

〔小学校グループ〕

市町村	大和高田市	大和郡山市	生駒市	生駒市	田原本町	明日香村
学校名	菅原小学校	治道小学校	生駒東小学校	鹿ノ台小学校	北小学校	明日香小学校
出席者	校長	校長	校長	校長	校長	教諭

〔中学校グループ〕

市町村	桜井市	五條市	御所市	明日香村
学校名	桜井中学校	五條西中学校	葛上中学校	聖徳中学校
出席者	校長、主幹教諭	校長、主幹教諭	校長、教諭	教頭

<討議の概要>

- 学校地域支援事業が取組のベースとなっている。今までは生涯学習課が担当していたが、今後は学校教育課が担当するべきか。県教育委員会では担当課はどうか。
- 既存の地域連携会議に児童委員、民生委員が参加し、学校の課題について討議した。不登校の子どもたちや、いじめ問題についても会議の議題になっている。
- 人権侵害を許さない。「命を大切にし、優しい心豊かな心の教育」を実践したい。安全安心な学校づくり、見守り活動(学校安全会議)なども実施していく。
- 子どもが安心して、温かい心で過ごせる学校環境の整備をしていく。
- ともに「花づくり」をして、自分たちの手で育てた花で卒業生を送り出す。花いっぱい卒業式を企画している。
- 校務分掌は横並びにすると、組織としては作りにくいかもしれない。
- 校内美化活動やあいさつ運動に力を入れる。
- 総合的な学習の時間などを活用して、二弦琴や和太鼓、蹴鞠などの伝統芸能を取り入れた活動を実施。地域の方々に指導をお願いし、発表会もしている。

- 生徒会活動主導で事業ができる。ボランティア活動も視野に入っている。
- 今後は地域へ出かけていく形も模索したい。お祭りや発表会など、活動を広げていく。
- 村に1つの小学校、1つの中学校しかないため、人間関係が変わらず、自分の殻を破ることがなかなかできないという子どもたちの課題がある。
- 地域力を活かせる体制を作り、学校から発信し、地域の意見をうかがう機会を設け、推進委員会を組織していく。
- 教職員の転出入のサイクルが早い。教職員の授業力向上が急務。授業運営が課題。
- 思いやりの心を育み、地域の力を借りて規範意識向上を図る。
- ICTや少人数授業を計画している。
- 地元の警察官の方が少林寺拳法の指導（武道の授業）にきてくださっている。全校生徒の名前と顔が一致する状況を作ることができている。規範意識向上に好影響も見られる。
- 婦人会（女性会）の方が定期的にグランドゴルフ、総会、研修会などで学校に来られる。
- 長期的な計画をたてて、事業の安定化、組織化を図る。
- 教職員の人数が少ないため、校務上の負担が大きい。コーディネーター役の教員が多忙になる。小規模校では、「参画・協働」というとハードルが高い。
- 協力者の発掘が難しい。
- 地域との一体感を育む活動や、地域の行事への参加、老人養護施設との連携を考えている。小中高との交流、連携も予定している。
- 和太鼓の演奏、発表や、地区の祭りへの参加を計画している。
- 子どもの見守り活動や放課後活動に力を入れる。情報交換の機会も設けたい。
- 活力ある子どもづくりをめざし、生徒会や部活動などを活用して実施していく。
- 生徒指導、学校運営について、保護者の力を借りて点検・協議する。
- 職員にどれだけ意識を浸透させるかが大切。学校が自らやっていることに、教育委員会の力を借りたい。
- 10月から3月までの6か月間でどんな組織を作るか。どこに照準をあわせるか。来年度に向かう準備期間と考えればよいのではないか。